

令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

35010

令和8年3月2日

札幌市立あやめ野中学校

学校教育目標 『未来を担う心豊かでたくましい生徒の育成をめざして』

- 自ら学ぶ意欲と豊かな創造力を育てる（自ら考え進んで行う生徒であれ）
- 広い心と豊かな情懷を育てる（広く考えて行動する生徒であれ）
- 健全な心とたくましい身体を育てる（心身ともにたくましい生徒であれ）

学校運営の重点 校訓～夢 人 力 へ～ 【Plan】	今年度の実践 【Do】	教職員アンケート (n=14)		生徒アンケート (n _{1年} =71、n _{2年} =78、n _{3年} =67)			保護者アンケート (n=85)		自己評価【Check】		学校関係者評価				
		番号	項目	評価	平均	項目	学年 評価 平均		項目	評価	平均	達成状況	分析と改善の方策【Action】	の 自 適 己 切 評 価	改 善 策 の 適 切 さ
							1年	2年							
1 学校の特色を生かした教育課程の推進と信頼される学校の創造	→	①	「人間尊重の教育」の理念にもとづき、教育相談や「PLUS PLUS」の取組等、子どもの声を聞く取組を大切にした特色ある教育課程を全職員で推進している。	A	4.30	生徒会活動や行事などで、仲間と協力しながら成長しようと取り組んでいる。	1年 A 4.20 2年 A 4.30 3年 A 4.10	お子様は、生徒会活動や行事などで、仲間と協力しながら成長しようと取り組んでいる。	A	4.00	A	①すべてのアンケートにおいてA評価であった。今後も体験的な活動を継続し、特色ある教育課程をより充実させる。 ②CS(コミュニティ・スクール)の導入を見据えた準備委員会を発足している。令和8年度から実施を開始する。 ③1年生はあいさつがしっかりとできていると自己評価しているが、他はB評価であった。生徒会活動をより機能させて、あいさつの大切さを意識できるような取組を継続する。 ④教職員、保護者ともにA評価であった。引き続き、効果的な発信を進める。 ⑤小中一貫した教育の取組についてはホームページ等を通じて発信していたため、保護者に実践が伝わっていた。小6児童との関わりはアンケート実施後の3学期だったため、生徒の評価に反映しなかったと考えられる。 ⑥すべてのアンケートにおいてA評価であった。今後もインクルーシブ教育を推進し、通常の学級と特別支援学級の垣根を無くす体制づくりとともに、互いの個性を認め合うことができる教育を推進する。 ⑦すべてのアンケートにおいてA評価であった。今後も防災教育を充実させる。 ⑧生徒に還元できる働き方改革の工夫を進める。	A	A	
		②	CS導入の準備を進めると共に、地域の協力を生かした体験的な学びの充実を図っている。	A	4.10		1年 2年 3年			A					
		③	「あいさつのあやめ野」「あったかあやめ野」の伝統を大切にしたい取組を推進している。	B	3.40	あやめ野のあいさつを意識して実践している。	1年 A 4.10 2年 B 3.90 3年 B 3.70	お子様は、「あやめ野のあいさつ」を意識して行っている。	B	3.80	B				
		④	学校HP、保護者メール、学校だより等による教育活動や学校評価等の発信に努め、学校の取組方針を丁寧に伝え、本校教育への理解促進を図っている。	A	4.40		1年 2年 3年		学校は、学校HP、保護者メール(すぐー)等で、学校の様子などをわかりやすく伝えている。	A	4.20				A
		⑤	小中一貫した教育の継続した取組を推進し、9年間の連続した学びを大切にしている。	A	4.40	中学校の先生方は、授業参観や部活動見学会などを通して、小学校の先生や小学生と関わっている。	1年 B 3.70 2年 B 3.70 3年 B 3.50	学校は、小中一貫した教育を意識して、校区内の小学校と連携している(教職員の交流・部活動見学・授業参観など)。	A	4.10	B				
		⑥	インクルーシブ教育を推進し、共生社会の実現につながる意識の涵養に取り組んでいる。	A	4.80	自分の学級だけではなく、1組から5組までのいろいろな仲間と交流する場を大切にしている。	1年 A 4.00 2年 A 4.00 3年 A 4.00	お子様は、互いの個性を認め合う意識をもって生活している。	A	4.00	A				
		⑦	防災教育を含めて、近年の災害を想定した学校安全教育を確実に推進している。	A	4.30	避難訓練等を通して、防災に取り組んでいる。	1年 A 4.40 2年 A 4.30 3年 A 4.40	学校は、避難訓練等を通して、防災教育を行っている。	A	4.30	A				
		⑧	働き方改革の取組推進を継続的に進めている。	A	4.00		1年 2年 3年				A				
2 学習指導の充実		⑨	全教科を通してすべての子どもが学びの成果を実感できる指導に努めている。	A	4.30	学習課題を意識して授業に取り組み、振り返りを行っている。	1年 B 3.90 2年 B 3.80 3年 A 4.00				A	⑨教職員と3年生はA評価だったが、他はB評価だった。昨年度より学習課題を意識して学習に取り組む生徒が減少しているため、授業内での振り返りをさらに大切にする。 ⑩2年生はA評価であるが、他はB評価だった。今後も自ら考えて判断し、タブレットを活用して学ぶ場面をより多く設定する。 ⑪生徒と保護者はB評価である。より多くの生徒が活用できるように指導を工夫する。 ⑫地域の中で生徒が協働的に学ぶ機会をさらに取り入れる。 ⑬すべてのアンケートにおいてA評価であった。引き続き、形成的な評価を充実させる。	A	A	
		⑩	ICT等を活用した課題探究的な学習の充実に取り組んでいる。	A	4.10	授業では、自ら考えて判断し、タブレットを活用して学んでいる。	1年 B 3.80 2年 A 4.00 3年 B 3.80				B				
		⑪	マネジメント手帳の活用等の指導を通して自己管理能力を高め、学習習慣の確立や時間管理ができるように指導している。	A	4.10	計画的に学習できるように、マネジメント手帳を活用している。	1年 B 3.30 2年 B 3.60 3年 B 3.50	お子様は、計画的に学習できるように、マネジメント手帳を活用している。	B	3.20	B				
		⑫	地域の中で協働的に学ぶ機会を大切に、共生社会の担い手としての意識を育てている。	A	4.10		1年 2年 3年				A				
		⑬	一人一人の学びの姿や成長の適切な評価と励ましに努め、教師の授業改善や生徒自身の意欲喚起につながる形成的評価の充実を努めている。	A	4.30	先生方は、自分が学習した内容に対する成果を適切に評価している。	1年 A 4.30 2年 A 4.10 3年 A 4.10	先生方は、お様が学習した内容に対する成果を適切に評価している。	A	4.10	A				
3 生徒支援とつながる力を育てる指導の充実		⑭	学校教育のあらゆる場面で、他者への優しさや思いやりある行動をすることや互いのよさや努力する姿を応援することを大切にしたい指導・支援の充実を努めている。	A	4.50	学校でのいろいろな活動で、周りの人に優しく関わっている。	1年 A 4.20 2年 A 4.20 3年 A 4.20	お子様は学校で、いろいろな活動を通して、先生にも相談しながら、仲間と関わり成長している。	A	4.00	A	⑭⑮すべてのアンケートにおいてA評価であった。今後も生徒支援とつながる力を育てる指導を大切にしながら継続する。 ⑯教職員と保護者アンケートに差があった。今後も、より丁寧にいじめ相談に対応し、いじめ問題に真摯に向き合っていく。	A	A	
		⑮	日常的な関わりや教育相談の充実を努め、校内生徒委員会での速やかな情報共有により、不登校やいじめ、生徒指導上の諸課題の速やかな初期対応を図り、事態の深刻化を防いでいる。	A	4.80	自分が困ったり悩んだりしたとき、先生方は親身に対応して相談に乗ってくれる。	1年 A 4.20 2年 A 4.10 3年 A 4.20	先生方は、お様の悩み等の相談に対し、丁寧に対応している。	A	4.00	A				
		⑯	いじめの指導にあたっては、学校基本方針にもとづき初動から組織対応を図っている。	A	4.90		1年 2年 3年		学校は、お子様や保護者からのいじめ相談に、丁寧に対応している。	B	3.90				A

※ 5:よく当てはまる 4:やや当てはまる 3:どちらでもない 2:あまり当てはまらない 1:まったく当てはまらない、として、平均xが5≧x≧4のとき「A」、4>x≧3のとき「B」、3>x≧2のとき「C」、2>x≧1のとき「D」とした。
 ※ 達成状況は、教職員・生徒・保護者のアンケート結果に見られるA～Dの状況とアンケートの平均の数値をもとに示した。
 ※ 学校関係者評価委員会による評価は、A:十分に適切、B:適切、C:やや不適切、D、不適切の基準で示した。

学校関係者評価委員会(2/24開催)による意見

⑮小中一貫した教育の推進について、生徒アンケートの文言は「中学校の先生方は、授業参観や部活動見学会などを通して、小学校の先生や小学生と関わっている。」となっているが、「中学校の先生方は」の部分を省いたほうが生徒達自身のこととして捉えることができるのではないかと、次年度に向けて検討していただきたい。